

第8回 よこはまウォーキングポイント共同事業者選定等委員会 会議録	
日 時	平成 29 年 4 月 27 日 (木) 10 時 00 分～12 時 00 分
開 催 場 所	関内中央ビル 5 階特別会議室
出 席 者	【委員 5 名】 荒尾委員、荒木田委員、上島委員、岡村委員、田中委員 【臨時委員 1 名】 土井委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	一部非公開 (傍聴者 3 名)
議 題	1 委員長の互選について 2 よこはまウォーキングポイント共同事業者の選定等について 一部非公開 3 歩数計アプリを活用した仕組みに関する共同事業者募集について 非公開 4 平成 28 年度事業実績報告について 5 平成 29 年度事業検証について 6 その他
議事要旨	
事 務 局	事務局よりあいさつ (健康福祉局 藤原健康安全担当部長) 定足数の確認 常任委員及ぶ臨時委員 6 名のうち、全委員が出席のため定足数を満たし委員会 が成立していることを確認
議題 1 委員長の互選について	
事 務 局	委員の推薦及び満場一致により、荒木田委員が委員長に決定。職務代理者は荒尾委 員に決定。(以降、進行は委員長が行う)
議題 2 よこはまウォーキングポイント共同事業者の選定等について (1) 第 1 期 (26～29 年度) の事業評価及び 30 年度以降の展開について	
事 務 局	【報告】 <資料 1> について説明
荒尾委員	行政の事業で、単年度ごとにコンスタントに参加者が増えているのは珍しい。事業 所が新たなターゲットとして加わった影響があるのか。
事務局	27 年度は事業所での健康づくりである健康経営を進めてきたため、他の施策と一 緒に取り組めるのは大きい。
荒木田委員長	年齢拡大をしたことも要因としてある。参加者拡大に向け、今年度も引き続き頑張 らなければならない。 資料 1 の 3 で、第 2 期の目的と 4 つの方向性について、委員のご意見はどうか。
田中委員	3 「歩く機会の創出」の部分について、健康でない人でも事業に参加しており、体

岡村委員	調をキープするという意味合いもある。
荒尾委員	若い世代に向け、アプリを始めるが、歩数計を持つ人が減っていないか、心配だ。この事業は高齢者が多いため、歩数計が欲しいというニーズに対応できるよう予算を確保する必要がある。
荒木田委員長	第2期の一番の目標は、参加者にいかに継続してもらうかだと思う。継続が一番難しいため、イベントだけではなく、もう少し戦略的に取り組まなければならない。
	「議題2(2)第2期の共同事業者の選定」「議題3 歩数計アプリを活用した仕組みに関する共同事業者募集について」は、公平・校正な競争性の確保のため、横浜の保有する情報の公開に関する条例第31条に基づき非公開とする。(満場一致)
議題2 よこはまウォーキングポイント共同事業者の選定等について (2) 第2期の共同事業者の選定について	
	非公開 <資料2～4>
議題3 歩数計アプリを活用した仕組みに関する共同事業者募集について	
	非公開 <資料5～8>
議題4 平成28年度事業実施報告について	
事務局	【報告】 <資料9>について説明
岡村委員	中小企業の支援の具体的な内容は。
事務局	健康経営の面では協会けんぽ様にご加入の会社様に、健康づくりの担当と一緒にウォーキングポイントを勧めている。
岡村委員	大きい会社で健康経営に取り組むだけではなく、積極的に協会けんぽや商工会議所に呼びかけないと、健康格差を助長しかねないと思う。その点は市が行う事業のため、サポートをして欲しい。
荒尾委員	他の自治体への情報提供はどのくらい行われているのか。
事務局	昨年度だけで約20か所の自治体からの問合せを受けている。
荒尾委員	今後も積極的な情報提供などを行った方がよいと思う。

議題5 平成29年度事業検証について	
事務局	【報告】 <資料10>について説明
荒木田委員長	前回はeアンケートで3,000人、事業参加者で4,000人の計7,000人だったが、今回は事業参加者6,000人に変更になる。
荒尾委員	アンケートの基本属性について、健康格差は社会経済的な要因も大きく影響することから、そのような項目が取れるとよいですね。
事務局	検討いたします。
議題6 その他	
荒木田委員長	第9回のよこはまウォーキングポイント選定等委員会は、平成29年8月3日(木)に、全て非公開で開催予定。